

嘉島中学校学校経営ビジョン

平成27.4.1

管理職の教育的情熱

組織マネジメント力

適時に的確な対策を打つための

①人材育成と②組織が作れるか

教育は外圧（生徒指導・学習規律）と内圧（生徒の自律）により成り立つ

「自律・自立する生徒の育成」（生徒会活動の活性化と地域との信頼）

生徒の価値観の変容 → 生徒集団の質の向上 → 自律・自立へ

（ものの見方・考え方を正す）（一人でもがんばる生徒へ）（全員で注意できる生徒集団の育成）

生徒指導の工夫・対策

- 嘉島きらめきデー（毎月1日）
 - ・生徒指導徹底週間
 - ・交通指導、自転車安全点検
- 地域、関係団体、PTA挨拶運動
- 問題行動対応マニュアルの実践
 - ・生徒指導記録用紙、家庭連絡の徹底
 - ・即日の内の対応、家庭訪問
 - ・即日の教育相談会
- 生活、いじめチェック、教育相談の充実

学習指導の工夫・対策

- 集団行動の徹底（10秒以内で無言で集合）
 - ・体育を中心とした取組
- 学習規律の徹底
 - ・私語、姿勢（問題があれば複数で指導）
- 提出物100%
 - ・みのがさない、昼休み放課後に補習
- 学習徹底週間で数値を決め競い合い
- 朝自習の複数指導（完全無言、教科ドリル学習：学校全体で統一）

職員

地域の教育力の活用（連携）

- 情報の受信・発信の多様化
 - ・学校通信、学級通信の他「学校HP」「連絡メール」の活用
- オープンスクールの開催（毎月初1W）
 - ・校長室にコーヒー、茶菓子をおいて
- 学校・地域教育懇談会（地域ボランティアの方々）
 - ・授業参観、招待給食
- 学校評議員会をととした学校課題への具体的実践

職員の意識の変容・ヤル気

- 職員の「当たり前」を変革
 - ・意識の変革と具体的な実践
- 職員室通信での啓発
 - ・組織の一員として、経営戦略を理解し、共通実践を行う
- 相談体制、ホウレンソウの確立
 - ・担任一人にしよこまない
 - ・学年主任の仕事の明確化
 - ・組織で全て対応
- ゴールの姿を生徒の姿で確認

職員組織のプロジェクト化

- 「Kコット」の組織化
 - ・生徒指導、特別支援教育、人権教育、教育相談を一元化
 - ・分掌責任者による多角的な問題行動の分析と具体的対策の立案、実践
- 校務分掌や行事責任者の明確化
- 週に1回の定例会議で問題行動に対するPDCAを確認
- 学年主任会の充実（ミドルリーダーの育成、活躍の場の保障）

外部機関との連携

- ケース検討会の開催
 - ・児童相談所、町子育て支援等との計画的・継続的取組（個別支援計画）
- 教育相談室の充実
 - ・空き教諭により空白の時間をなくす
 - ・「サテライト授業」の実施
- 不登校生徒への対応
 - ・毎朝の家庭連絡、訪問（町不登校支援）
- SSW、SC、民生委員等の活用と相談
 - ・カウンセリングの実施
 - ・医療等専門機関へつなぐ

小中一貫教育の活用

- 小中交流授業
- 合同部活動練習
- 小中一貫教育部会での共通実践
 - ・学習訓練、基本的生活習慣
 - ・問題行動等の情報交換
- 小中連絡会

総合的な学習の深化

- キャリア教育の充実
 - ・職場体験活動を2年から
 - ・民間企業と連携した実践
 - ・GTを活用した実践
- 進路指導の早期実施
 - ・中2全員を高校体験入学
 - ・セキスイハウス、日本航空等
- 本物の授業
 - ・著名人、メダリスト等の講演会の開催
- 職場体験の工夫

生き方学習

- 生徒会活動の活性化
 - ・赤十字運動による奉仕活動
 - ・学校行事の際の清掃活動
 - ・安全委員会による自転車見回り
- 学習リーダーによる異学年指導
- 夏季リーダー研への次学年の派
- 認め励ます「スクールプライド」
 - ・「嘉島魂コーナー」の設置
 - ・文化祭等での個人のがんばり表彰
 - ・クラブチームでの生徒のがんばり表彰

自主・自立（律）の育成

- 掲示内容の工夫（価値の呼びかけ）
 - ・心に刺さる呼びかけ
- ボランティア活動の活性化
 - ・介護施設慰問
 - ・地域の清掃活動
- 委員会活動の活性化
 - ・「生徒会執行部会」（毎週月曜日）
 - ・放送内容の工夫（質の転換）
- 部活動でのリーダー養成
 - ・キャプテン会議の開催（毎週金）

